

平成30年度3学期終業式式辞

早いもので3学期そして1年間の最期の日を迎えてしまいました。皆さんはどんな思いで本日を迎えたのでしょうか。様々なことが心の中で思い出されていることでしょうか。皆さんがこうして無事に本日を迎えられたことを嬉しく思っています。ただいま3人の生徒の皆さんから素晴らしい代表の言葉を聞きました。Sくん、Aくん、Kくん本当にりっぱな発表でしたね。そしてその言葉を聴いていた1・2年生の実に立派な態度にも感心しました。誰も下を向いていません。顔を上げて聴いています。大井西中学校もこんな素敵な学校になったんだとしみじみと思い込んでいます。皆さん本当にありがとう。

さて最近、多くの方々から大井西中学校に対してお褒めの言葉をいただきます。その中で一番嬉しかった言葉は「学校がきれいになった」「無言清掃が素晴らしい」というお褒めの言葉です。特に無言清掃をする皆さんの姿は、市内19校のどの学校に見てもらっても恥ずかしくない胸を張れる大井西中学校の宝物だと思っています。清掃ができる学級や学校に荒れた学級や学校は一つありません。それだけ清掃ができること、それも無言清掃ができるということの素晴らしさを皆さんにはわかってほしいと思います。清掃を頑張るという行為は、勉強や運動を頑張ることとは違った意味を持っています。人は誰でも自分のために勉強や運動を頑張れますが、他人のためや周囲のためやみんなのために頑張れる人は大人でもなかなかいません。清掃活動とは自分のためでもあります。他人や学級やみんなのために行う活動でもあります。決して楽しい活動ではありません。しかしそんな清掃活動を無言で黙々と取り組む1・2年生の皆さんが大井西中学校にはいます。その姿を見ていると私は皆さんの清掃に対する心の持ち方の変化を感じずにはられません。清掃の時間だから仕方なく無言で清掃する人もいるでしょう。清掃について何も考えずに無言で清掃する人もいるでしょう。また周囲のためや学校のために無言で清掃している人もいるでしょう。様々な思いで清掃に取り組む人がいる中で、今の大井西中学校は無言清掃の価値や意味を理解し、みんなのために頑張っている生徒が増えている様に感じています。きっと学級でもゴミが落ちていたならば、進んでゴミを拾う人が増えているのだと思います。その行為を誰も褒めたり認めたりしなくても当たり前のようにその場にふさわしい行為行動ができる人が増えているのだと思います。その延長線上に今の宝物のような無言清掃があると確信しています。

きれいな学校は温かな学校を創ります。きれいな学校そして温かな学校は、皆さんの勉強や運動を向上させる素晴らしい教育環境です。人は笑顔や笑いの中で安心して勉強や運動に励まないと効果は上がらないのです。だから人のためや周囲のために行う無言清掃はととても素晴らしい活動の1つなのです。私はそ

んな皆さんのことをとても誇りに思っています。

いよいよあと2週間で2年生は3年生へ1年生は2年生に進級します。そして新たな1年生が入学してきます。どうか皆さんのその心遣いを新入生の皆さんへ伝えていって下さい。皆さんが無言清掃を頑張る心遣いは、決して目には見えなくても形になっていなくても必ず温かな雰囲気として大井西中学校全体に広がっていると信じています。その温かな雰囲気こそがこれからも大井西中学校を高め、成長させてくれる原動力になることでしょう。皆さんの無言清掃に見る温かな心遣いに改めて深く感謝すると共にこの1年間の皆さんの様々な場面での頑張りに敬意を表し、3学期式辞と致します。

平成31年3月26日(火)

校長 山崎 祐一